※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和５年度　芸術科（美術）

教科	芸術科	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術２」　（光村出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題作品ごとに到達目標と観点を提示します。それを基に自分の主題を生成し、自分の目で見て、自分の頭で考えて、自分の行動で制作してください。
・「自分とは何か」という問いを深め、表現することで自分をより深く理解していきましょう。
・「他者と自分の関わり合い」を意識し、表現することで他者とのつながりを認識しましょう。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートやレポート、作品で評価します。課題作品の提出期限を守りましょう。
・美術の授業では、感性を高め、表現力と鑑賞の能力を伸ばし、美術が生徒みなさんの生涯にわたり、心や生活を豊かにしていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて主体的に、表現方法を工夫して表している。 美術作品・文化などの表現の工夫を理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的で機能的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	平面構成	修学旅行で使用する缶バッチ制作	a:　表現方法の特性や技法を学ぶ。色についての知識を深める。 b:　主題を自ら生成し、技法を利用して的確な表現方法を探す。 c:　主題を追求して表現しようとしている。	作品	作品	作品 ワークシート
		ペン画 修学旅行で使用するしおり制作	a:　ペン画の表現方法を理解し、効果的に使うことができる。 b:　主題を効果的に表現するために構成などを考えている。構成の意図や目的が作品に表現されている。 c:　主体的に取り組み、表現方法に創意工夫がみられる。	作品 ワークシート	作品	作品
2学期	平面構成	切り絵	a:　表現方法について学ぶ。デザインカッターを使いこなす。 b:　技法や道具の特性を生かし、色彩、構成などを工夫して創造的な表現方法を考えることができる。 c:　主体的に取り組み、表現方法に創意工夫がみられる。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品
		油絵	a:　油絵について学ぶ。描画道具を使いこなす。 b:　主題を効果的に表現するために、技法を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 c:　自己の内面を見つめ、自ら主題を生成する。主体的に取り組み、表現方法に創意工夫がみられる。	作品 ワークシート	作品	作品
3学期	工芸	かごを編む	a:　編み方について学ぶ。多様な編み方を理解する。 b:　素材の特性を生かし、立体的に表現できる。色や編み方に創意工夫がされている。 c:　細部までこだわり、丁寧に制作しようとする。	作品	作品	作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度